

◇学習環境について◇

<整理整頓>

◇整然とした環境にし，その時間に必要でないものを掲示したり，書いておいたりしない。

<掲示物>

◇前面の掲示物は必要最小限にとどめる。（必要なことに児童の注意を向けさせるため。）

◇その日の学習予定を丁寧に書くか，教科カードをはる。（見通しをもって学習できるようにするため。）

<机の並び>

◇通常一斉学習では，指導者と児童が正対するように机を配置する。
発達段階に応じてパーソナルスペースをとる。

◇授業前の指導について◇

<整理整頓>

◇机上には，その時間に必要な最小限度の物のみを置かせる。

◇机の横のフックは，巾着袋程度に使用し，ロッカーに片づける。

◇机の背もたれに服をかけさせない。→ ロッカーに入れる。

<身だしなみ>

◇服の袖から手が出ていない，シャツ出しやボタン外れ，シューズのかかとふみ等について，きちんと点検・指導してから授業を始める。

<姿勢>

◇両足の裏を床に付け，背筋をぴんと伸ばし背もたれにもたれないようにする。



上黒瀬小 授業モデル

めあて→まとめ→振り返りが1連の流れとしてつながる授業

<授業始め>

◇日直は教卓前に出て号令をかける。

〔授業始まりのあいさつ〕

「姿勢。これから、〇時間目の〇〇の学習を始めます。」(はい。)

「先生と目が合っていますか。」(はい。)

「礼。」(お願いします。)(先言後礼)

「立腰」

「瞑目」

*落ち着いた雰囲気、静かに授業を始める

問題をつかむ

◇問題提示の工夫

- ・児童に考える意欲と必要性をもたせる問題。

めあての設定

◇めあての設定

- ・児童から言葉を引き出した本時のめあてを明確に板書する。(1時間の中で何を考えるのかが分かるようなめあて・まとめと対応するめあて)

見通し

◇見通し

- ・どのように考えるか・・・既習事項をもとにする。
- ・何を使って考えるか・・・図・表・式 など
- ・結果の見通し・・・問題をもとに考えた数値など

自力解決

◇自力解決

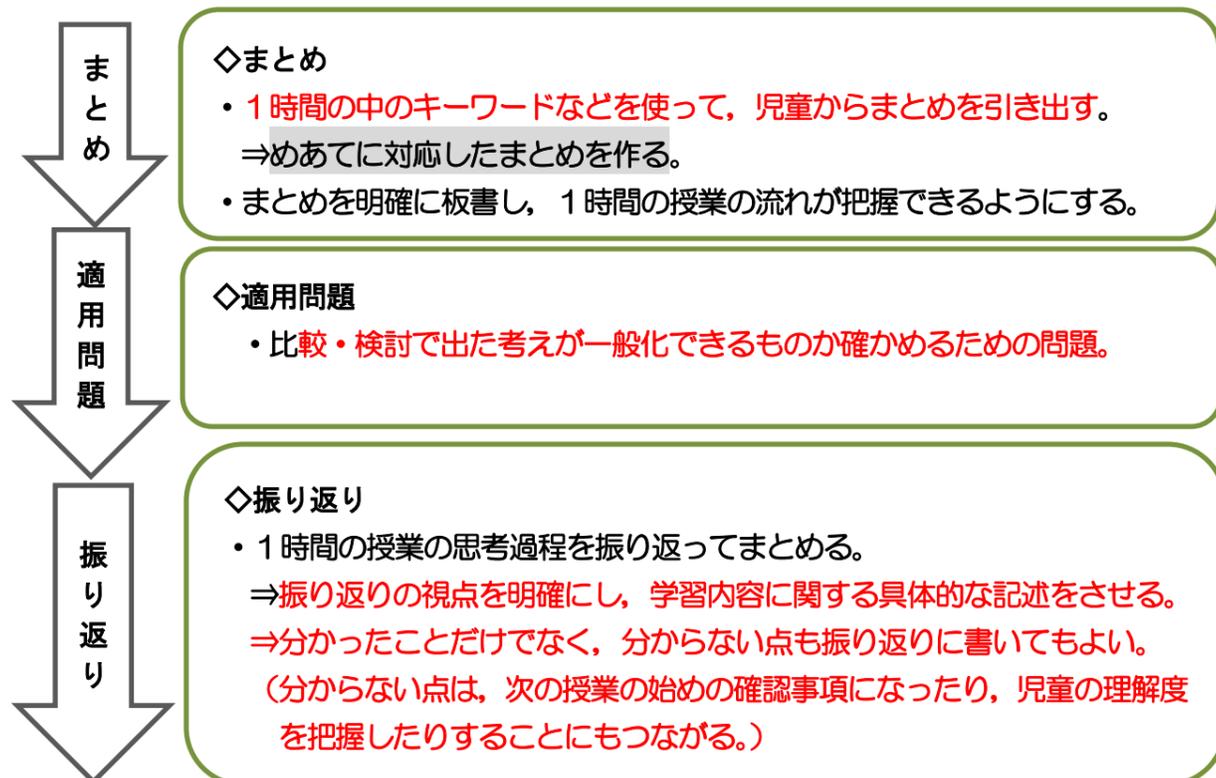
- ・課題・方法等を選択・決定する場を設ける。
- ◇一人で調べ考え判断する時間を設ける。
⇒ノートに自分の考えを書く時間を確保する。

比較・検討

◇比較・検討

(ペア・グループ学習)

- ・必然性のあるペア・グループなど、学習形態を工夫し、他者に学ぶ場を設ける。
 - ・話型を提示したり、キーワードを示したりして、自分の考えをお互いが必ずことができるようにする。
- (全体交流)
- ・指導過程の工夫・意図的な指名により全児童が発表・活躍できる授業づくりをする。
⇒教師自ら児童の意見を大切に示す姿勢を示す(誤答の扱い・ネームプレート等の活用)
⇒発言をつなげ、集団での学び合いとなる場を設ける。
⇒対立・多様な考えを生む発問等を工夫する。
⇒つぶやきを積極的に取り上げて全児童に発表のチャンスを与えるようにする。
⇒承認・賞賛・励ましの言葉がけを積極的に行う。



<授業終わり>

[授業終わりのあいさつ]

「姿勢。これから、○時間目の○○の学習をおわります。」(はい。)

「先生と目が合っていますか。」(はい。)

「礼。」(ありがとうございました。)(先言後礼)